

学校長あいさつ

本校は昭和51年に国立赤江療養所内仮校舎、県立宮崎病院分教室にて開校し、宮崎県で唯一の病弱教育を専門とする特別支援学校として開校から50年目を迎えます。独立行政法人国立病院機構宮崎東病院等の医療機関と密接な連携のもと、幼児児童生徒が「積極的に社会参加し、自立生活を営むことのできる心豊かな人間性の育成」を目指しています。

令和7年度は、幼稚部0名、小学部5名、中学部10名、高等部2名、合計17名の幼児児童生徒が在籍しています。この中には、宮崎東病院に入院し訪問教育を受けている児童生徒も含まれます。

ところで、令和6年元日に能登半島地震が発生し甚大な被害が出ました。昨年4月以降、宮崎県内でも大きな地震が続けて起きています。地震大国と言われる日本に住む私たちは、いつ大地震が起きても対応できるよう一層防災に努めなければならないと考えています。

今年度の学校経営ビジョンには「健康で安全な教育環境の確保と自己実現に向けた重点的な取組」として、

- 1 安全・安心な学校を目指した危機管理体制の強化
- 2 病弱教育校としての専門的指導力と自立活動の指導の充実
- 3 ICT機器等を活用した情報教育の推進
- 4 キャリア教育の充実
- 5 ワーク・ライフ・バランスの向上と働きやすい職場環境の醸成

の5点を掲げました。

このビジョンの具現化に向けて組織的な学校運営に努め、幼児児童生徒一人一人の病状や実態、社会の変化を踏まえながら、学びの質を高める指導を探究し、社会の変化に対応する新たな学校を目指して努力を続けています。

また、本校の校訓「のぞみ高く ねばり強く 誇りを胸に チャレンジャーであれ」のもと、全職員が子ども一人一人の個性と能力を伸ばし、夢や希望が実現できるよう個に応じた適切な指導及び必要な支援に取り組んでいます。

令和7年4月

宮崎県立赤江まつばら支援学校
校 長 堀 克